

宇都宮商工会議所創立130周年記念 「一青窈スベシヤルコンサート」を開催 約2000人が歌姫の声に魅了



熱唱する一青窈さん



デビュー曲の「もらい泣き」や
大ヒット曲の「ハナミズキ」などが披露された



一青窈さんの歌声とステージの演出で
観客を楽しませた

行われました。
期待が徐々に高まる中、いよいよ午後5時にコンサートが始まりました。盛大な拍手の中ステージに現れた一青窈さんは、ご来場いただいた皆さまに「創立130周年という記念すべき年にお招きいただき、大変光栄です」とあいさつ。その後は多くのヒット曲をレパートリーに持つシンガーだけ

あつて、「もらい泣き」「ハナミズキ」など歌が始まるたびに会場は盛大な拍手が湧き上がりました。
全12曲が披露され、熱狂冷めやらぬうちに午後6時にコンサートは閉幕。来場者の皆さまは一青窈さんの、透明でありながら力強い歌声の余韻に酔いしれながら、帰路につかれています。



一青窈さんのCDも
エントランスで販売



コンサート開催にあわせて
LINE公式アカウントを開設



一青窈さんと一緒にステージを
楽しむ観客の皆さん

6月12日(月)から始まった本コンサート申込受付は、初日からたくさんのお申し込みがあり、7月3日(月)に受付を終了しました。8月1日(火)に抽選結果を発表し、同月30日(水)から当選者へコンサート公演のチケットを順次送付しました。
事前に送付した公演チケットは全席指定席にもかかわらず、午後4時の開場前に市文化会館には多くの方々が列を作り、猛暑のなか午後4時の開場を心待ちにされていました。
開場後は、大ホールで期待に胸を膨らませつつ、お知り合い同士で会話を楽しませていました。
大ホールのエントランスには一青窈さんCDの販売ブースと当所のLINE公式アカウントの2ブースが出店しました。当所LINE公式アカウントブースでは、コンサート来場者限定特典として、友だち登録すると先着130人に「宇都宮餃子の消しゴム」をプレゼントするキャンペーンが

当所創立130周年記念行事の一つとして企画された、人気シンガーソングライター一青窈さんのスベシヤルコンサートが、9月18日(月・祝)に宇都宮市文化会館大ホールで開催されました。当日は約2000人が来場、一青窈さんの歌声を堪能しました。

〈プロフィール〉
一青窈(ひととよう)
1976年、東京都出身。台湾人の父と日本人の母の間に生まれ、幼少期を台北で過ごす。2002年、シングル「もらい泣き」でデビュー。翌年、同曲で日本レコード大賞最優秀新人賞などを受賞。5thシングル「ハナミズキ」が大ヒットを記録。映画や音楽劇への出演、他アーティストへの歌詞提供など、歌手の枠にとらわれず活動の幅を広げている。また、音楽療法に興味を持ち、病院や児童養護施設などでの歌唱を続けている。
昨年デビュー20周年を迎え、8月に新曲「耳をすます」を配信、12月18日には約8年ぶりのオリジナル・アルバム「一青窈図(ひととづくしず)」をリリースした。



来場者にプログラムや記念誌等を配布



受付開始前から長蛇の列

